

【国立大学法人秋田大学】

申請者：秋田大学・秋田県教育委員会

研究協力校：全県小中学校13校

能代市立能代第一中学校・湯沢市立湯沢西小学校・大館市立城南小学校・男鹿市立船川第一小学校・大潟村立大潟中学校・鹿角市立花輪小学校・大館市立北陽中学校・北秋田市立鷹巣小学校・三種町立琴丘中学校・美郷町立六郷小学校・能代市立東雲中学校・秋田大学教育文化学部附属小学校・秋田大学教育文化学部附属中学校

協力教育機関：秋田県総合教育センター

モデル開発概要

現場における課題

- ◆少子化の進展による各学校の教員数の減少
(小規模校増加により校内研修が充実しない)
- ◆急激な教員の世代交代により実践知の継承が困難
- ◆多忙化対策と校内研修会等の時間確保の問題
- ◆新たな教育課題等への対応(GIGAスクール構想、他)

モデルの概要

- ◆遠隔授業システムを整備し秋田県内の教師教育資源(県教委、大学、地域)を共有・活用し、授業研究会・校内研修会を活性化させる基礎資料を収集すると共に、教員の主体的な学びの機会を提供することのできる研修システムを開発する

活用する技術・ツール等

- ◆ 360° WEBカメラ
- ◆ 自動追尾カメラ
- ◆ Zoom配信用パソコン
- ◆ GoPro MAX(ハンディ型360° カメラ)、タブレット型カメラ

高度化に資する取組

地域・学校の壁を越える新時代の授業研究システムの構築

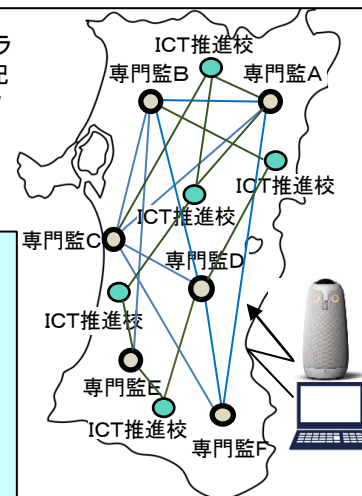
秋田県内の教師教育資源(県教委、大学、地域)を共有・活用し、授業研究会・校内研修会を活性化させると共に、教員の主体的な学びの機会を提供することのできる研修システムを開発する。(360° WEBカメラを活用した遠隔授業配信及び授業研究会等の研究)



※360° WEBカメラを活用した授業配信及びコンテンツ録画の様子

【重点施策】

- ◎附属小学校・中学校の授業配信・遠隔研究会(2校)
〈360° 授業配信・授業研究会システム開発〉
- ◎ICT活用推進校の研究報告会配信・コンテンツ蓄積
〈各校のICT活用教育の推進・充実〉(5校)
- ◎「秋田の探究型授業」を牽引する教育専門監等の授業コンテンツの蓄積・活用(6校)
〈秋田の学力を支える授業力の向上〉



モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

- 【1】遠隔地で臨場感ある授業研究を効果的に行うことが期待できる。
- 【2】研究授業のための良質なコンテンツの充実が図られるとともに県内授業配信システムのモデルを開発することができ、今後、遠隔地域においてオンデマンド型の質の高い授業研究が可能となる。
- 【3】研修会参加のための長距離移動が削減でき、教員の働き方改革にもつながることが期待できる。
- 【4】複数の学校をつなぐ校内研修が可能となり、小規模校においても校内授業研修を充実させることが期待できる。
- 【5】教員のICT活用能力が増し、様々な業務へのICT活用が活性化する。